

## 「出題の意図」

選抜区分	2026（令和8）年度（選抜区分：一般選抜 後期日程） 国際環境工学部 建築デザイン学科（科目名：面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p>&lt;面接の意図・ねらい&gt; 個別面接・口頭試問を行った。</p> <p>個別面接・口頭試問では、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自己PRおよびその内容</li><li>・期間限定の建物と長く使い続ける建物の違い</li><li>・建物を建てる際の材料への考え</li><li>・住宅の設計における夏の暑さ対策</li></ul> <p>について質問し、回答を求めた。 これらの質問を通じて、受験生の思考力および意欲などを確認した。</p> <p>個別面接・口頭試問</p> <p>自己PRに関しては、多くの受験生が事前に記入した面接シートの内容を踏まえて回答していたが、自らの考えを整理し明快に述べることができた受験生と、自身の考えや強みを十分に表現しきれなかった受験生に分かれた。</p> <p>期間限定の建物と長く使い続ける建物の違いについての質問では、建物を多角的な視点から捉える力に受験生ごとの差が見られた。中には、昨年開催された大阪・関西万博の特徴を踏まえて回答する受験生も見られた。</p> <p>建物を建てる際の材料に関する考えについての質問では、何を優先するかについて回答が分かれたが、追加の質疑応答を通して複数の観点を踏まえた考えを示す受験生が多かった。</p> <p>住宅の設計における夏の暑さ対策についての質問では、窓に着目して回答する受験生が多く見られた。一方で、空調の使用を前提とし、効率的な冷房方法について提案する受験生もいた。</p> <p>全体として、面接に向けた準備が十分に行われており、質問に対して的確に回答できている受験生が多かった。</p>